

スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)	グローバルな視点を持ち、社会の新たなつくりとして、地域に貢献できる人材を育成する学校 地域社会との連携や英語を活用した先進的な学習など、自らの可能性にチャレンジする学習活動を通して、国際的視野と豊かな人間性を兼ね備え、高い志を持って幅広い知識や深い考え追い求める人材を育成します。	
スクール・ポリシー (三つの方針)	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも意欲を持って主体的に取り組み、自らを高めるためにチャレンジしようとする意欲を持つ人 ・学ぶ意欲に溢れ、高い志・幅広い知識・深い考えを求める姿勢を持つ人 ・地域社会に積極的に貢献したいという意欲を持つ人 ・自主自律に努め、文に武に自己の向上を求める人
	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の第一希望進路実現に向けたキャリア教育の充実 ・生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」の推進 ・「主体的・対話的で深い学び」を推進する授業改善 ・ICTの日常的な活用を通じた教育の質の向上 ・他者や社会の関りを通して自己有用感の向上 ・豊かな人間性と社会性の育成
	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも意欲を持って主体的に取り組み、自らを高めるためにチャレンジしようとする意欲を持つ人 ・学ぶ意欲に溢れ、高い志・幅広い知識・深い考えを求める姿勢を持つ人 ・地域社会に積極的に貢献したいという意欲を持つ人 ・自主自律に努め、文に武に自己の向上を求める人

学校運営計画(4月)

学校運営方針	明るく豊かな心と英知に富み、たくましい精神力と強靱な体力をもとに、力強く生き抜く意志と意欲をもつ若人の育成を目指す。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
創立40周年関連諸行事は教育活動を充実させ、心豊かで快活な学校生活に繋がった。それは年度末に実施した学校満足度アンケートで全学年、卒業生保護者において約95%が満足したと答えた結果に表れている。 特に、生徒指導を生徒支援と改め、生徒自ら考え、判断し、行動することを促すことが、教育活動全般に良い影響を与えている。 本年度は、「生き生きと夢や目標に向かって積極的に踏み出す生徒を応援して、育成する。」ことを柱に、スローガンを「Design your future」とし、生徒一人一人が自身の目指す姿を思い描き、その夢に向かって自ら考え、自ら計画し、自ら行動に移し、そして実現する生徒の育成を目指す。	「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」を培う調和のとれた教育活動を推進し学びの質の向上のために、授業改善、学習指導につながる評価、ICTを活用して臨場感ある学びや協働的な学びを実践する。 自己理解を深めながら自らが望む生き方を決め、それを実現していける力を育むことを目的とした教育を推進するため、高い志をもたせるとともに目標や課題を生徒個々に設定させ、自己の可能性を伸ばすことで、希望進路を実現させる。 学校内外の体育的・文化的な活動をおし、主体性や積極性、協働性や他人を思いやる心を育み、豊かな人間性と社会性を育むための教育を実現する。 地域の期待に応え、本校のビジョンを保護者や地域の方々と共に、社会に開かれた教育課程」「地域と共にある学校」の実現に努める。	個別最適な学びを推進するため、観点別評価による指導の改善を図り、生徒一人一人の多様な個性を伸ばす学習指導を実践する。指導と評価の一体化を図り、生徒の意欲やチャレンジを引き出し、確かな学力の育成・定着と自立的学習態度を養う。 共感的な生徒理解と自分らしさを生かせる活動の場所づくりを図り、集団生活を営む上での自己管理能力の育成や協働して学ぶ環境を構築し、学校内での望ましい人間関係を形成し、いじめや不登校のない学校生活の実現を目指す。 英語イマージョン教育を推進し、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力や協調性、論理的思考力・判断力及び表現力を育み、既存の文化、価値を乗り越えて新しい価値を創造するグローバルに活躍できる力を持った人材の育成を図る。 「文武不岐」の精神のもと、部活動への積極的な加入を促すとともに活動内容の充実を図り、心身の調和のとれた発達を促す。 3年間を見通した進路指導計画に各学年の目標と考査・各種試験やガイダンス等を学年指導や教科指導とより密接に連動させることで、生徒の希望進路の実現を図る。 学習や指導の改善のため、学習成果物を保存・蓄積、整理・分析に有用なポートフォリオを積極的に活用する。 「総合的な探究の時間」で取り組むOGR(Ogori Global Research)プロジェクトを充実させる。このことをとおして、協働的な学びの中で、課題発見力・計画力・創造力、などの「考え抜く力(シンキング)」を育成する。 学習活動や各種行事をはじめ、日常の様々な場面において、「考え抜く力」、「チームで働く力(チームワーク)」を念頭に育成する場を設定し、社会で生きていく上で必要な「社会人基礎力」を育成する。 部活動・生徒会活動・ボランティア活動への積極的な活動を促し、経験・体験を通じ豊かな心をはぐくむ教育を推進し、感受性や発信力など、「確かな学力」の中心になる「しなやかな心の力」を育てることを目指す。 自分の良さや可能性を認識し、あらゆる他者を尊重し、自他を大切にできる心を養い、多様な人々協働できる、いじめ等のない安心して学べる環境を構築する。 校務運営委員会を学校運営の核とし、諸会議を通じ、学校運営方針を具現化する。また、職員の能力と意欲を発揮できる魅力ある職場づくりを目指して、働き方改革を推進する。 自他の生命や健康・安全を尊重する態度を養うとともに、防災教育をとおして、地域の災害や特性についての知識を備え、自然災害から身を守り、被災した場合でもその後の生活を乗り切る能力や、他の人々や地域の安全を支えることができる能力、安全・安心な社会を構築する能力を育成する。 SNSやホームページ等を用いて教育活動をきめ細かに恒常的に発信し、本校教育活動の理解や信頼と期待を高めるように実践する。特に、中学校訪問や進路相談事業等において全職員による組織的な広報活動を展開することで、本校の教育方針の周知に努める。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
学習指導	個別最適な学びの推進のための指導と評価の一体化と多様な個性を伸ばす学習指導の実践 観点別評価による授業改善の推進、ICTを活用した臨場感ある学びや協働的な学びの実践	「たしかな学力」の向上を目指した日頃の授業内容・定期考査の改善・充実を図る。 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」をさらに伸ばすための指導法をさらに高める。 指導と評価の一体化を確立し、「自主的に学習に取り組む態度」のさらなる育成を目指す。 タブレット等のICT機器の授業への活用等、情報課・研修図書課と連携して授業力の向上を図る。 ICTの活用による、生徒が自分で考え学習する力や自主的に学習に向かう態度を育成する。 小テストや課題の活用を推進し、学習時間や成績の分析を徹底し、自主的な学習の量を増やす。	第1学年アンケート 授業アンケート 学校満足度アンケート 第1学年アンケート 授業アンケート 学校満足度アンケート	
生徒指導	自己指導能力や主体的に行動する姿勢の育成 学校安全の充実を図るとともに、安全に対する生徒の意識	基本的な生活習慣(時間厳守、容機、挨拶や言葉遣い)の定着を通して実践力の育成を図る。 主体的に校則を遵守し、状況に応じた身だしなみや立ち振る舞いができる行動力を育成する。 情報モラルを含めた携帯電話やSNS等の活用について、継続して指導する。 学校いじめ防止基本方針に基づいた取組を実施し未然防止や早期発見、迅速対応に努める。 外部講師を積極的に活用するなど、規範意識育成学習の一層の充実を図る。	学校生活アンケート 家庭用チェックリスト 学校満足度アンケート 学校生活アンケート 家庭用チェックリスト	

様式3

	の向上や実践力の育成	交通事故等の未然防止に加え、乗車マナーを含む公衆マナーの指導を継続して行う。	学校満足度アンケート
進路指導	生徒に高い志を持たせその実現に必要なキャリアデザイン構築への推進	ICTツールの活用や各分掌・学年との連携で生徒自ら計画を立て学ぼうとする姿勢を伸ばす。	学校満足度アンケート
		進路ガイダンスを通し生徒のキャリアデザインの基礎を構築する。 生徒向けの校外活動プログラムを周知徹底し、積極的な参加を促す。	
	OGRプロジェクトにおける深い探究活動を通しての考え抜く力の育成	1年では探究の基礎をつかみ、世界や地域の課題について個人での探究活動を行う。 2年では興味・関心に基づいてテーマを選択し、班別で多角的な探究活動を行う。 3年生は自己の在り方生き方に関わる探求を小論文や志望理由書作成を通して深める。	学校満足度アンケート
第1学年	学校生活全体に主体的に取り組む態度の育成	クラスの仕事をできるだけ生徒に分担させることで、生徒自身に学校生活の主体であることを自覚させる。 様々なボランティアやコンクール、コンテストなどの情報を積極的に収集して生徒に提示することで、課外活動への自発的な参加を促す。 身近な行事である修学旅行の実施方法を深く考察することで、学校行事は生徒が創り上げるものであるという意識を持たせ、その他の行事も主体的に取り組むことができるようにする。	学校満足度アンケート
	社会に貢献することができる人材の育成	総合的な探究の時間において、実際に地域の方々と接する機会を設け、社会的な視野を広げ、社会に貢献したいという気持ちを育てる。 日々のHRでの連絡事項や黒板に書く日付等、英語の授業以外の日常生活で英語に触れる機会を多く作るようにする。 自分のやりたいことが実現できる進路はどこかについて生徒・教員が共に考え、それを実現するために必要なことを共有する。	学校満足度アンケート
第2学年	何事にも主体的に取り組む態度の育成	学校生活のあらゆる場面において、生徒が「選択」する機会を作り、何事にも自分の意思で取り組むことができるようにする。 生徒と教員が一緒になって修学旅行や学年行事の計画・運営を行い、自分たちの力で創造する力を養う。 基本の課題とは別にチャレンジ課題を準備することで、生徒が主体的に学習を行うことができるようにする。	学校満足度アンケート
	自らの長所を活かし、社会に貢献することができる人材の育成	1か月に1回の「学習や進路に関する個人面談」を実施することによって、常に「なりたい自分」を意識して行動できるようにする。 グローバルな人材を育成するために、英語でHRを行ったり、日付や時間割を英語表記にしたりするなど、日常から英語に慣れ親しむ環境を作る。 従来の委員会活動を基本に、学年独自の仕事内容を追加したり、新たな係りを新設したりして、全ての生徒が前期・後期を通して、学校や学年、クラスに貢献できる機会を作る。	学校満足度アンケート
第3学年	自主自立の精神で何事に対しても自ら積極的に挑戦・探究する態度の育成	学校行事でリーダーとしてPDCAサイクルを繰り返し思考・判断力を培う。 授業の中で周囲との対話を通して、自分の言葉で表現できる力を培う。 活動全般で、自らの資質・体力・技術力の向上を図り、自己肯定感を高める。	学校満足度アンケート
	主体的な観察・活動による3年間の集大成・進路実現	具体的なキャリアプランを持たせ、進路実現への意識を高める。 自分の設定目標に対して完遂できるような確かな支援を行う。 大学や企業の情報を更新・共有することで生徒に伴走し、より良い進路につなげる。	学校満足度アンケート
保健環境	各自が思い描く理想の姿を目指し、自ら考え健やかな生活を実践できる生徒の育成	生徒保健委員会を中心に、健康的な生活を送るための方法について主体的に調査し、保健だよりや研究発表を通して情報発信を行う。 普段の授業や学校行事等あらゆる場面を通して、集団全体の健康維持に向けて、個人として努めるべきことは何か考え、実践させる機会を設ける。 教員・生徒を対象に、心身の健康維持についての専門家による研修や講演会を実施する。	学校生活アンケート 家庭用チェックリスト 学校満足度アンケート
	校内外の環境美化に努め、地域と共にある学校の実現とともに、誰もが安心して学べる環境の構築	生徒環境委員会を中心に、校外の清掃や花植え等、地域社会に向けた美化推進活動を実施する。 年に3回美化コンクールを実施し、生徒の目を通して評価することで、美化意識の向上を図る。 専門医やソーシャルワーカー等、外部の専門家と連携を図り、支援の方法について研修を行いながら、生徒全員の望ましい学校生活を確保する。	学校生活アンケート 家庭用チェックリスト 学校満足度アンケート
研修図書	夢や目標に向かって挑戦しようとする生徒の育成を目指す授業及びその改善の推進	各教科及びALT スペシャリストと連携し、英語イマージョン教育を中心とした教科横断的な授業の推進を行う。 研究授業及び研究協議を、年間を通して計画的に実施し、授業改善に向けて組織的に取り組む環境を整える。 相互授業参観週間に年に2回実施するとともに、授業の参観がしやすい取組を実施することで、教員同士の学び合いを充実させる。	学校満足度アンケート
	生徒一人一人の心に寄り添う指導の実現に向けた職員研修の充実	観点別評価による指導の改善や多様な学び方への対応等、職員のニーズを踏まえた職員研修を企画・立案する。 地域や社会の要請に応える教育活動を実現させるために、他分掌との連携を図りながら講師を選定し、実践的な職員研修を実施する。 様々な情報の提供、及び、校外における研修の案内を積極的に行うことで、教員としての資質・能力の向上等を図り、その成果を生徒に還元できるようにする。	学校満足度アンケート
企画	本校の教育活動に対する保護者の信頼や期待向上	各学年・分掌との連携を強化し、年間の業務内容(資料)を整理する。 PTA専門委員会の活動をコロナ禍前の水準まで活性化する。 各行事の案内等は1ヶ月以上前に配布して周知を図る。	学校満足度アンケート
	生徒が自らの可能性を信じてチャレンジする教育活動の支援	行事予定を適時早目に配布して、学校生活を計画的に過ごさせる。 防災避難訓練の事前指導を通じて、実効性のある訓練にする。 各行事の後に生徒と職員にアンケート調査をして改善につなげる。	学校満足度アンケート
広報	広報ツールの役割を生かした広報活動	生徒の声を生かした学校案内パンフレットを作成する。 ホームページ、Instagramで新しい情報を速やかに更新する。 Youtubeのアカウント管理や活用を行う。	学校満足度アンケート
	学校全体で行う広報活動	生徒が中学生に直接的な声を届ける機会を増やす。 出前授業や学校説明会の場で本校の魅力を発信する。 本校の行事や取り組みを事前に紹介できる機会を増やす。	学校満足度アンケート
情報	クロームブックを主体的に活用する生徒の育成及び電子黒板を活用した授業の定着	ICT機器を活用した授業をICT支援員と連携してサポートする。 様々な状況に対応するためにオンライン学習の準備・推進を行う。 様々な場面において、クロームブックの積極的な活用を推進する。	学校満足度アンケート
	校務用ネットワーク・新生徒ネットワークおよびICT機器の適切な管理	生徒に対してクロームブック等の適切な使用法を周知する。 ネットワーク関係などのトラブルなどの対応を適切に行う。 タブレットやPC周辺機器の管理を確実に実施する。	学校満足度アンケート
事務	「Design Your Future」活動を支援する環境整備	新たな活動に対しては、積極的な提言を含んだサポートを行う。 施設の大規模改修期を迎えるため、基本構想を構築する。 過去の踏襲、指示待ちに陥ることなく、業務の改善を重ねていく。	徴収金納入実績
		財務会計の正確な遂行	財務監査、会計指導の指導事項に対し認識を共有する。 所要時間もコストと認識し、迅速かつ正確な会計処理を目指す。 財務事務においては財務規則を再確認して事務処理を行う。